

平成30年度事業報告について

1 オーケストラ運営事業会計（公益目的事業会計1）

（ ）＝県外公演数（内数）

区 分		30年度実績	摘 要
1 オーケストラ運営事業			
自 主 公 演	定 期 公 演	19 (3) 公演	県内、東京、大阪、名古屋 県内、富山、東京
	特 別 公 演	17 (4) 公演	
	音 楽 堂 特 別 公 演	6 (0) 公演	
	ファミリー公演・入門コンサート	4 (0) 公演	
	新人登竜門コンサート	1 (0) 公演	
	小 計	47 (7) 公演	
依 頼 公 演	小・中学校公演	7 (2) 公演	県内、高岡 県内、東京、京都 等
	市町・企業等依頼公演	28 (14) 公演	
	C D 録 音 依 頼	1 (0) 公演	
	小 計	36 (16) 公演	
海 外 公 演		6 (6) 公演	
		合 計	89 (29) 公演
小編成による室内楽公演		139 (12) 公演	
オーケストラアンサンブル金沢 設立30周年記念 県内縦断コンサート（再掲）		19 市町公演 （内訳） フルオーケストラ 11市町 室内楽 8市町	
2	ジュニア・アマチュアオーケストラの育成振興事業	○ジュニア・オーケストラ開催 ・5/ 4（金・祝）いしかわ・金沢 風と緑の楽都音楽祭 ・8/ 5（日）OEKおしゃべりクラシック	
3	その他、音楽文化を通じて地域振興に寄与する事業 ・楽器技術講習会 ・合唱団の育成	・3/24（日）第25回定期演奏会 ・3/31（日）オーケストラの日公演 ○楽器技術講習会の開催 2回 ・5/20（日）能登地区（会場：穴水中学校） ・8/22（水） 〃 （会場：輪島中学校） ○オーケストラ・アンサンブル金沢合唱団の育成 ・5/ 3（木・祝）いしかわ・金沢 風と緑の楽都音楽祭 ・1/20（日）オペラ「ドン・ジョバンニ」 ・2/16（土）OEK定期「真夏の夜の夢」	
	・ボランティア公演実施	○ボランティア公演の開催 ・県庁19階展望ロビーコンサート 1/3（木） ・金沢駅構内コンサート 10回	
4	新たな定期会員制度の導入	○「マイチョイス」 現3シリーズ（フィルハーモニー、マイスター、ファンタスティック）から3公演を自由に選択	

平成30年度 オーケストラ・アンサンブル金沢の特徴的な事業

- (1) 北陸新人登竜門コンサート 管・弦・打楽器部門
7月12日(木) 石川県立音楽堂コンサートホール
- (2) いしかわ・金沢 風と緑の楽都音楽祭2018への出演
4月28日～5月5日開催 石川県立音楽堂コンサートホール他
オーケストラ公演：7公演(オープニングコンサート1公演を含む。)
- (3) OEK設立30周年記念県内縦断コンサート
5月9日～3月25日にかけて、県内19市町で公演
- (4) ドビュッシー没後100年 OEK設立30周年記念企画コンサート
オペラ「ペレアスとメリザンド」
OEK芸術監督就任のマルク・ミンコフスキによる企画コンサート
7月30日(月) 金沢公演(県立音楽堂コンサートホール)
8月1日(水) 東京公演(東京オペラシティホール)
- (5) OEK台湾公演
日台文化交流の一環として台湾の3都市で公演
6月29日(金)～7月1日(日) 屏東(ピントン)県、台南市、高雄市
- (6) 東アジア音楽文化交流事業
トンヨンフェスティバルオーケストラ合同公演(OEKメンバーが参加)
4月7日(土)・8日(日) トンヨン(韓国)公演
4月10日(火) 香港公演
4月13日(金) 金沢公演

2 音楽堂自主事業会計(公益目的事業会計2)

石川県立音楽堂自主事業を3ホール合わせて21事業を実施

洋楽の部	邦楽の部	交流ホールの部
スロヴァキア・フィルハーモニー管弦楽団公演 講談・オペラ「卒塔婆小町」公演 洋邦コラボレーションコンサート ランチタイムコンサート(年間5回) アフターセブンコンサート(年間2回) クラシック・フォー・キッズ(年間2回) 他5事業実施	松竹大歌舞伎(7/23) ふれあい伝統芸能ランド(8/4) 芸のかたちシリーズ「素描の美」(9/30) 新春檜舞台(1/27) 音楽堂寄席(年間2回) 他2事業実施	おしゃべりクラシック 〔OEKメンバーによる リサイタル 年間3回〕 音楽堂室内楽シリーズ 〔各種室内楽公演 年間4回〕 カルチャーナビ 〔クラシック音楽講座や 芸能講座 年間5回〕
計 11事業	計 7事業	計 3事業

3 音楽堂管理会計(公益目的事業会計3 及び 収益事業会計)

石川県立音楽堂の管理運営(県から指定管理者に指定：平成30年4月1日～令和5年3月31日)

年間ホール利用	コンサートホール	247日	
(本番・練習)	邦楽ホール	214日	総入場者数 255,949人
	交流ホール	243日	

4 その他(当期一般正味財産増減額のマイナス要因について)

当期一般正味財産増減額がマイナスとなった要因については、収益面では依頼公演の減少に伴い公演料収入が減少したことなどによるものであり、費用面ではオペラ公演などの舞台費にかかる経費が大幅に増えたことによるものである。

これについては、これまでの剰余金にて処理を行ったところである。